



「ひと・まち・産業が 元気なまち 滑川」を目指して

一般会計・特別会計・企業会計を合わせて
総額 **208 億 429 万円**

歳 出

「ひと・まち・産業が元気なまち 滑川」を実現するための積極型予算

新総合計画に掲げるまちづくりの将来像「ひと・まち・産業が元気なまち 滑川」を目指し、市民福祉の向上や社会基盤の整備、産業の振興、教育文化の向上などを図るための諸施策として、乳幼児から高齢者まで、市民の誰もが世代を超えて、いつでも自由にスポーツ・レクリエーションに親しみ、健康づくりや体力づくりができる総合拠点、スポーツ・健康の森公園の整備について予算化を図る一方、生涯いきいき食育推進事業、地産地消推進事業、幼・保・小連携促進事業、子どもの体力向上推進事業などについても積極的に取り組むこととしています。

また、新たにケーブルテレビを活用した番組の放送を通じて、多様な学習機会を提供するテレビ寺子屋事業や、レアメタルを多く含む使用済み小型家電の拠点回収に取り組むほか、市民生活の根幹となる上下水道事業や道路・河川の整備などについても着実な促進を図ります。

※4～5ページで、実際にどのような事業を行うか、主なものをご紹介します。

- 一般会計：市税収入を主な財源として、福祉、保健衛生、土木、教育、消防など市の仕事の大部分をまかなう会計です。
- 特別会計：特定の事業を行う場合や特定の収入で特定の支出に充てる場合、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計で、滑川市には国民健康保険事業や介護保険事業など、6つの特別会計があります。
- 企業会計：民間企業と同じように、事業によって得た収入で支出をまかなうという、いわゆる独立採算を原則とする事業について設けられた会計で、滑川市では水道事業会計が該当します。
- 市税：市民の皆さんが納めた税金で、固定資産税、市民税、軽自動車税、市たばこ税を総称したものです。
- 地方交付税：全国の市町村が等しく行政事務を行えるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。
- 国県支出金：いろいろな事業に対する国や県からの補助金、委託金などです。
- 諸収入：貸付金元利収入や、市が受託した事業の収入などです。
- 民生費：高齢者、障がい者、児童の福祉や生活保護に使われます。
- 公債費：借り入れた市債の元金・利子などの償還に使われます。
- 総務費：市の全般的な管理、企画や選挙、戸籍、住民票事務などに使われます。
- 土木費：道路、公園、市営住宅などの建設や管理に使われます。
- 教育費：小・中学校・公民館の運営や、文化・スポーツの振興に使われます。
- 衛生費：ごみ処理や環境保全、市民の健康保持に使われます。

◆ 予算用語説明 ◆

平成23年度予算が市議会3月定例会で議決されました。
一般会計は113億7,754万円で、前年度に対して2.6%（2億8,989万円）増、国民健康保険事業や水道事業などの特別・企業会計予算の総額は94億2,675万円で、前年度に対し2.1%（1億8,938万円）増となりました。
また、一般会計、特別・企業会計を合わせた予算総額は、前年度に対し2.4%（4億7,927万円）増となっています。

予算概要

健全な財政運営と新総合計画の両立

平成23年度の予算編成にあたっては、引き続き厳しい財政環境の中で、国の予算や地方財政計画などを勘案しながら、行政改革大綱に基づく経費の節減合理化と財源の重点的・効率的な配分を行うなど、「滑川市健全な財政に関する条例」に即した計画的かつ健全な財政運営を推進するとともに、第4次滑川市総合計画（計画期間：平成23～32年度）に掲げる施策を実現するため、引き続き、子どもを産み育てやすい環境づくりに重点的に取り組むほか、食育、環境保全、魅力あるまちづくりに向けた取り組みを推進するなど積極型の予算としました。

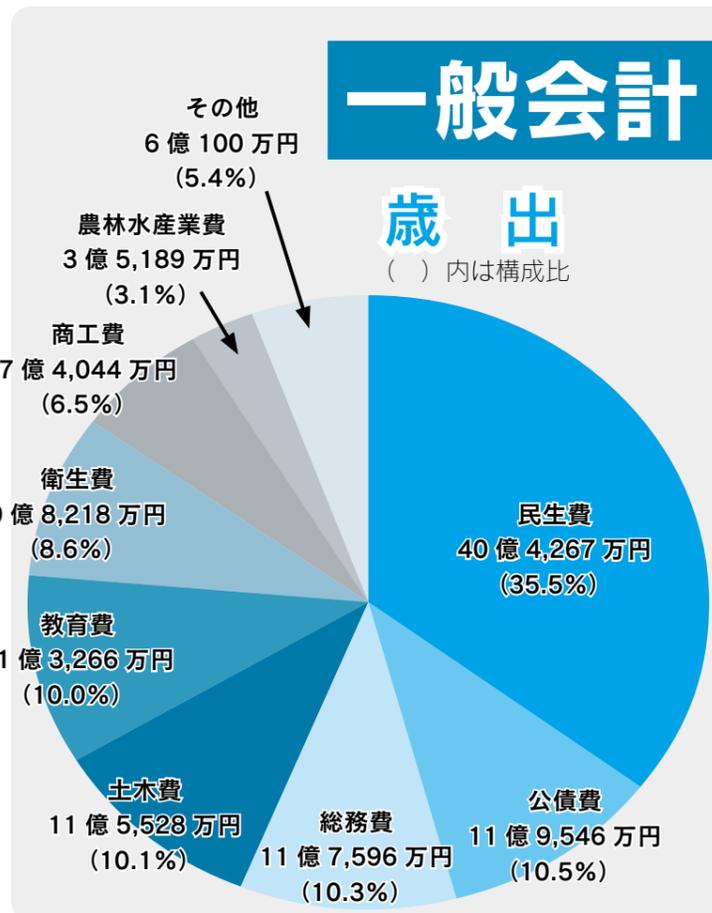
歳 入

景気の持ち直しにより市税収入は微増の見込み

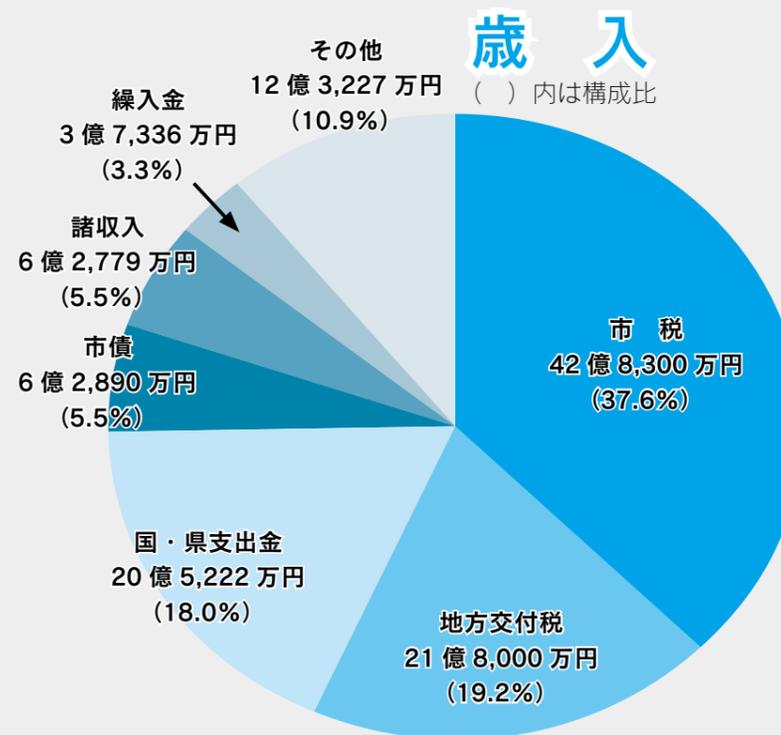
国内経済では、失業率が若年層を中心に依然として高水準で推移するなど厳しい状況にあるものの、海外経済の好転や各種の施策効果を背景として景気の持ち直しが期待されており、企業収益などの回復により、地方税収について一定程度の回復が見込まれることなどから、市税について3年ぶりに前年度より増額を見込みました。

また、地方交付税については「地域主権改革」に沿った財源の充実を図り、地方が地域活性化・雇用・子育て施策などに継続して取り組む必要性を踏まえ、「地域活性化・雇用等対策費」の別枠加算維持などにより増額確保されたことなどから、本市予算においても増額計上するとともに、新たな総合計画の諸施策実現のため、財政調整基金の取り崩しや臨時財政対策債の発行などにより財源の確保に努めました。

このほか財産収入については、土地開発公社の解散に伴う残余財産の分配金により211.3%の増となっています。市債については、新たな市債の発行の抑制に努めており、28.5%の減となっています。



113 億 7,754 万円



会計別予算額

会計名	平成23年度予算額	前年度比
一般会計	113 億 7,754 万円	2.6%
特別会計	86 億 7,897 万円	2.9%
国民健康保険事業	29 億 850 万円	0.8%
後期高齢者医療事業	6 億 1,787 万円	1.8%
介護保険事業	26 億 8,767 万円	8.9%
下水道事業	23 億 1,483 万円	0.1%
農業集落排水事業	1 億 4,133 万円	△4.3%
工業団地造成事業	877 万円	△36.9%
企業会計(水道事業)	7 億 4,778 万円	△6.6%
総合計	208 億 429 万円	2.4%

主な事業

平成23年度予算のうち、実際にどのような事業を行うのか、新たな取り組みを中心に紹介します。(★は新規事業)



「ひと」が元気なまちづくり

- 子ども・妊産婦医療給付 1億3568万円
妊産婦および中学校修了前までの入院・通院医療費の無料化を継続するとともに、新たに10月から所得制限を撤廃します。
- ★認定こども園建設補助 1050万円
西加積幼稚園が開設する認定こども園に係る建設費を補助します。
- ★保育所建設補助 2811万円
児童保育園増築に係る建設費を補助します。
- 子ども手当支給 7億9378万円
中学校終了前までの子どもの養育者などに手当を支給します。(3歳未満児への支給月額を1万3千円から2万円に増額します。)
- 放課後児童対策事業 2601万円
全小学校区において、放課後児童育成クラブを開設するとともに、新たに4カ所の開設時間を午後5時30分から午後6時に延長します。

障がい者福祉利用券などの給付

- 障がい者福祉利用券などの給付 512万円
在宅の障がい者などを対象に、入浴や理容・美容にも利用できる福祉利用券を給付するほか、障がい者の生活行動範囲の拡大・社会参加促進を図るため、障がいの程度に応じてタクシーの乗車チケット、コミュニティバスの乗車券を給付します。
- ★介護予防等教室開催 162万円
富山医療福祉専門学校の協力を得て、介護予防などに対する意識向上を目的とした教室を各町内会において開催します。
- ★高齢者うんどう習慣化事業 331万円
スポーツ・健康の森公園「長寿いきいき広場」において、楽しみながら健康づくり・介護予防運動ができる健康運動遊具を使った教室を開催します。
- 厚生連滑川病院救急医療補助 3000万円
市内唯一の公的病院である厚生連滑川病院の救急医療体制・質の高い医療の確保を目的として助成します。
- 消防分団施設整備事業 560万円
各消防分団に防火衣などを配備します。

生涯いきいき食育推進事業

- 生涯いきいき食育推進事業 232万円
食育講演会、食育サポーター養成講座、体験型食育教室などを開催するとともに、滑川市食育推進計画の普及啓発を図ります。
- 特別支援教育推進事業 1779万円
学習面や生活面で特別な支援を必要とする子どもたちの増加に因應するために、介助支援や学習活動時の細やかな支援を行うスタディ・メイトを19人から26人に増員します。
- ★テレビ寺子屋事業 343万円
ケーブルテレビを活用した番組の放送を通じて、小・中学生に多様な学習機会を提供します。
- 教育センター運営 1392万円
教育効果を高める調査や研究会などを行うとともに、新たに先人の偉業を記載した副読本を作成し、ふるさと教育を推進します。
- 学校給食共同調理場運営 6493万円
子どもたちにふくらとしたご飯を提供するため、現在のステンレス製弁当箱からご飯茶碗に変更します。また、食育授業、食・農体験教室を実施し、食育教育の充実を図ります。

母子保健対策

- 母子保健対策 3036万円
母子保健訪問、乳幼児健康診査などを実施するとともに、新たに妊産婦健康診査に、ヒトT細胞白血病抗体検査、クラミジア感染検査を導入します。
- ★時計台広場音楽祭開催 58万円
東福寺野自然公園において、時計台設置30周年を記念した音楽祭を開催します。



地区公民館整備

- 地区公民館整備 654万円
西地区公民館大研修室エアコン設置工事などを実施するほか、各地区公民館にAEDを設置します。
- ★公民館ふるさと教育推進事業 55万円
ふるさと滑川の自然・歴史・文化に対する理解を深め愛着を育む「ふるさと講座」を各地区公民館で開催します。

★展覧会開催 338万円

江戸・昭和初期にかけての名所絵や鳥瞰図を通して、富山の観光史を検証する「観光文化展」や、市内に現存する歴史的価値の高い絵馬を展示する「滑川の絵馬展」などを開催します。

★総合体育センター整備 3200万円

総合体育センターに太陽光発電設備を設置するとともに、屋外照明のLED化を図り温室効果ガスの削減に取り組むほか、アリーナ床改修工事などを実施します。

★スポーツ・健康の森公園整備 1億7800万円

乳幼児から高齢者まで幅広い年代の方が気軽に利用でき、健康・体力づくりおよびスポーツレクリエーション活動の総合拠点施設となる、スポーツ・健康の森公園を整備します。(平成23年度は多目的広場エリア、駐車場の整備など)

「まち」が元気なまちづくり

- 地球にやさしいまちづくり推進事業 332万円
住宅用太陽光発電システム設置費を補助するとともに、緑のカーテンコンテスト、エコファーマリー事業などを開催し地球温暖化防止を図ります。

★歴史と文化が薫るまちづくり事業 100万円

歴史的・文化的な地域資源を活用した地域づくりを推進するため、計画を策定します。

●コミュニティバス運行 3644万円

実証実験運行の結果を踏まえ、4月から本格運行を開始し、地域間の交流促進や高齢者など市民の交通手段を確保します。



●リサイクル推進事業 9114万円

資源ごみのリサイクルを推進するとともに、新たにレアメタルを多く含む使用済み小型家電の拠点回収を開始します。

●宮窪大島線道路改良事業 9500万円

東部小学校や早月中学校の通学路でもある市道宮窪大島線の歩道拡幅を含む道路改良を進めます。

●東福寺野自然公園整備事業 2000万円

エントランスゾーンの遊歩道の整備などを実施します。

「産業」が元気なまちづくり

★なめりかわイメージアップ推進事業 103万円

市イメージアップキャラクター「キラリン」をご当地キャラクターまつりなど県内外のイベントに派遣するとともに、キラリングッズを作成し、市のイメージアップと知名度の向上を図ります。



●まちなか居住推進事業 1240万円

まちなかのにぎわいづくりのため、人口集中地区内での住宅取得費などを補助します。

●公共下水道建設事業 5億3274万円

浄化センターの第5池増設工事や上小泉、法花寺地内の管渠埋設工事などを実施します。

●水道配水管布設替 8640万円

老朽化した横道から河端町地内の配水管布設替工事を5カ年計画で実施します。

★産業情報充実事業 381万円

市内事業所約200社の事業概要などの詳細情報(産業ガイド)を、より充実した内容に整備します。

●緊急雇用創出事業など 4381万円

国庫補助金を活用して、滑川産農産物の販売促進や学校図書資料の把握・電子化、食育推進員の配置などを行い、失業者の雇用を確保します。

●地産地消推進事業 194万円

滑川産食材を活用した一品料理コンテスト、地元伝承料理コンテストを開催し地産地消への関心を高めるとともに、蔬菜園芸協会に対し定植機などの導入費用を補助し、学校給食への供給向上を図ります。

★特産物生産促進事業 304万円

特産物振興のため、ネギの生産拡大を図る農事組合法人に対し、パイプハウスや皮剥き機械などの導入費用を補助します。

●プレミアム商品券発行助成事業 875万円

プレミアム付き商品券発行に係るプレミアム分と事務費を補助します。

●工業振興対策 9656万円

市内への企業立地促進のため、工業振興条例に基づき、工場の増設などに対して補助します。

